



iCROWN NEWS LETTER

感染症臨床研究ネットワーク事業 Infectious Disease Clinical Research NetwOrk With National Repository

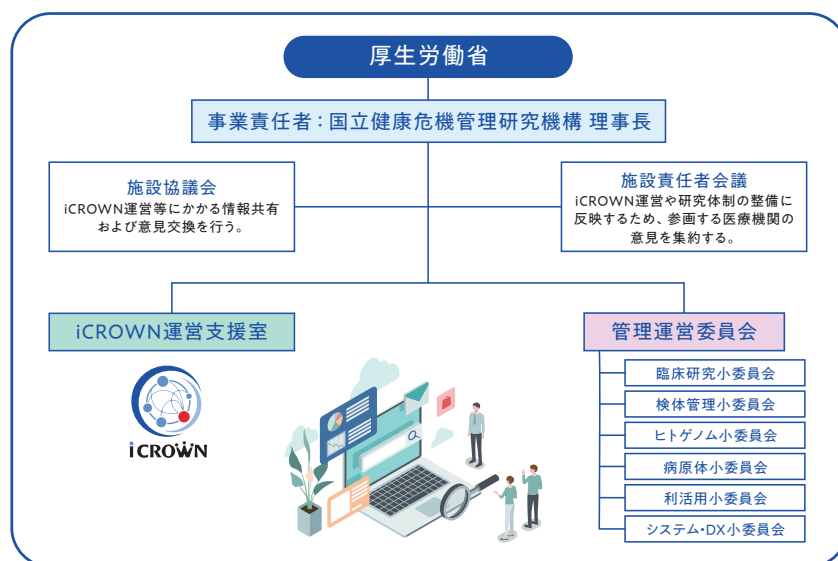
2026年7月発行

Vol. 2
No. 1

iCROWNの運営体制

平素より感染症臨床研究ネットワーク (iCROWN) 事業に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和8年度の開始を迎え、本事業に参画する医療機関は全国47都道府県すべてに配置され、次なる感染症危機へ向けた平時からの臨床試験・研究体制は一段と強固なものとなりました。本誌では、全国へと広がったネットワークの最新動向やリポジトリの利活用情報を定期的にお届けしてまいります。



iCROWN事業はJHISが厚生労働省より受託し、運営を担います。



厚生労働省
健康・生活衛生局
感染症対策部
感染症対策課
木庭 愛
課長

本ニュースレターをご覧の皆様には、日頃から、感染症対策行政に格別のご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

コロナ対応の教訓を踏まえ、感染症危機に際して、国民の皆さまに、迅速に必要な医薬品を届けられるよう、平時からの研究開発を多層的に推進・支援する重要性に触れた「感染症危機対応医薬品等開発・生産体制強化戦略（いわゆるMCM戦略）」が本年3月に閣議決定されましたが、iCROWN事業もこの中で大きな役割を期待されております。

国内外で発生するさまざまな感染症が、人々の命と健康を脅かしています。

日本の感染症危機への備えをより一層強固なものにするために、皆様のご協力をよろしくお願いします。



国立健康危機管理
研究機構
國土 典宏
理事長

国立健康危機管理研究機構（JHIS）の発足から、1年が経過いたしました。当機構は、基礎研究から臨床、公衆衛生対応まで一体的に推進する「感染症総合サイエンスセンター」として、社会の安心・安全への貢献と健康危機管理の強化に邁進しております。

中核事業である「iCROWN」には、全国の特定・第一種感染症指定医療機関等が結集し、これを学術的・実務的に支援する機関を含めた強固な連携基盤が形成されています。

危機への備えに終わりはありません。医療機関の皆さまには、研究開発の加速と我が国の公衆衛生対応力のさらなる向上に向け、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



国立健康危機管理
研究機構
武井 貞治
理事
(危機管理・
総合調整担当)

日頃よりiCROWN事業への多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

iCROWNはリポジトリ機能を中核に、平時からの医療機関訪問やロールプレイ、研究手順の事前整備を通じて、有事に迅速な治験等を開始できる体制を整えています。現在は、重点感染症をはじめとする対象疾患の拡大に備えたロジスティクス整備に加え、試料や病原体の提供体制を整えることで、幅広い主体による医薬品の研究開発を広く支援していきます。さらに、自治体との連携強化や研修・訓練による人材育成等にも取り組み、地域の感染症対応力向上に資する基盤を構築します。

医療機関の皆さまには、今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

iCROWN事業

● 参画医療機関の声を事業運営へ — 「施設責任者会議」を設置

iCROWN事業では、参画施設の拡大に伴い、多様な現場の課題やニーズを把握し、事業運営に活かすため、研究実施機関等からなる「施設責任者会議」を新たに設置いたしました。平時からの強固な連携を通じて、有事に即応できる研究基盤のさらなる強化へと繋がります。



広島大学病院
副院長、感染症科長
教授
大毛 宏喜

この度施設責任者会議の座長を務めさせて頂くことになりました。お認め頂きました皆様に感謝申し上げます。全国には、厚生労働大臣が指定する特定感染症指定医療機関と、都道府県知事が指定する第一種感染症指定医療機関があり、一類感染症や新興感染症が国内で発生する事態に備えています。JHSの発足により、我が国感染症対策の危機管理は次のステージに移行しました。すなわち有事に迅速に対応するための平時の体制強化です。そのためには特定および第一種感染症指定医療機関の意思疎通と連携が欠かせません。iCROWN事業は、このネットワークを形にするための重要な取り組みです。施設責任者会議の設置により、参加施設のこれまでの経験や知識が共有され、より強靱な体制づくりに繋がると期待しています。参加施設のご意見を伺いながら、本事業の活性化と発展に貢献したいと考えております。

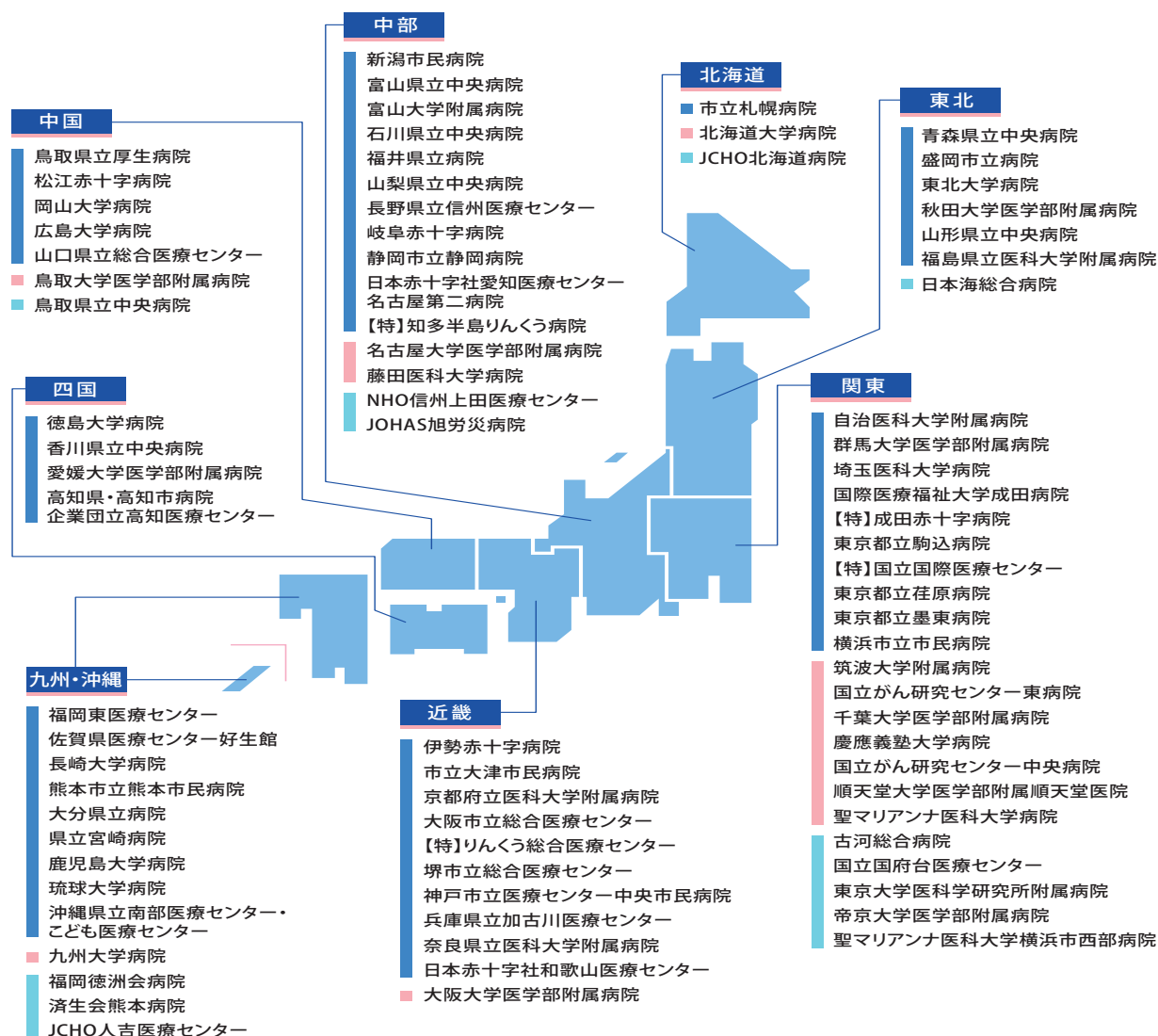
どうぞよろしくお願いいたします。

■ [研究実施機関]

■ [研究推進機関]

■ [準研究実施機関]

無印：第一種感染症指定医療機関
【特】：特定感染症指定医療機関



(許可をいただけた医療機関のみ掲載しております。掲載時の医療機関情報は更新されている場合がございます。)

活動報告

● 令和7年度 第2回 研修会・施設協議会を開催

iCROWN事業では、令和7年11月20日・21日に感染症指定医療機関職員を対象とした研修会を開催し、延べ129名にご参加いただきました。研修会では、参画医療機関による施設紹介に加え、個人防護具（PPE）の着脱訓練や、患者受け入れ時の人員計画立案のグループワークを実施しました。また、中央一括審査の意義、市中病院における治験体制構築、リポジトリ活用事例に関する講義を行うとともに、First Few Hundred (FF100) 調査をテーマとしたグループディスカッションが行われました。

同時開催した第2回施設協議会には、参画医療機関および自治体から174名が参加しました。重症急性呼吸器感染症（SARI）の検体・臨床情報の収集及び利用の状況、研究推進機関による研究実施機関の支援について情報共有がなされ、多くの貴重なご意見をいただきました。

本企画の準備・運営にご尽力賜りました関係の皆さまに、心より御礼申し上げます。今後も、ともに学び合い・支え合える交流を続けていければと考えております。



● 令和8年度 iCROWN定期勉強会開催

＜iCROWN定期勉強会テーマ（例）＞

- ・ニパウイルス感染症
- ・ハンタウイルス
- ・エムボックス
- ・RSウイルス
- ・新型コロナウイルス感染症
- ・鳥インフルエンザ

※iCROWN主催定期勉強会の受講対象者につきましては、JIHSおよびiCROWN事業のご関係者に限らせていただいております。

基礎研究者と臨床家の連携強化を目的として、月1回にオンライン形式で定期勉強会を開催しています。基礎および臨床双方のエキスパートの視点から講演と質疑応答を行っています。



● 第100回日本感染症学会総会・学術講演会/第74回日本化学療法学会総会合同学会にて、iCROWNの取り組みを紹介～ブース出展・シンポジウムを行いました。

令和8年5月22日から24日にかけて東京国際フォーラムで開催された「第100回日本感染症学会総会・学術講演会」および「第74回日本化学療法学会総会」の合同学会において、iCROWNの取り組みを発信しました。シンポジウム10では「感染症臨床研究ネットワーク（iCROWN）の活動と目指すところ」、シンポジウム36では「感染症危機に備える臨床研究基盤の構築：感染症臨床研究ネットワーク（iCROWN）の役割と展望」と題して講演を行い、感染症危機に備えた研究基盤整備の重要性と将来展望を共有しました。

また、会期中には展示ブースを出展し、事業の概要や活動状況を紹介するとともに、来場者との活発な意見交換を行いました。感染症診療や研究に携わる多くの関係者から貴重なご意見をいただき、今後のネットワーク運営や事業推進に向けた有益な機会となりました。



新興・再興感染症の試料・データを 感染症研究等にお役立てください

● 臨床情報

(例)

基本情報	・年齢 ・性別 ・併存疾患 ・身長/体重 ・初診日/入院日/発症日
感染症に関する情報	・対象疾患の検査結果 ・その他病原体検査結果 ・対象疾患のワクチン接種歴
入院や治療に関する情報	・入院時症状 ・転帰 ・治療内容 ・入院経過（体温、SpO2、HRなど）



● 試料

- ・血漿
- ・PBMC（抹消血単核球細胞）
- ・ヒトDNA
- ・唾液
- ・ぬぐい液（鼻咽頭、鼻前庭、咽頭、皮膚病変）
- ・便



● ヒトゲノム解析データ

- ・Rawデータ FASTQ形式 要相談
- ・マッピングデータ CRAM形式 要相談
- ・ゲノム多型データ gVCF（Genomic Variant Call Format）, VCF（Variant Call Format）

● 分離病原体・病原体ゲノム解析データ



東京都新宿区戸山1丁目21-1
国立健康危機管理研究機構
iCROWN運営支援室 MAIL: icrown@jihs.go.jp
©2025 Japan Institute for Health Security

iCROWNの
ホームページはこちら

<https://icrown.jihs.go.jp>

